

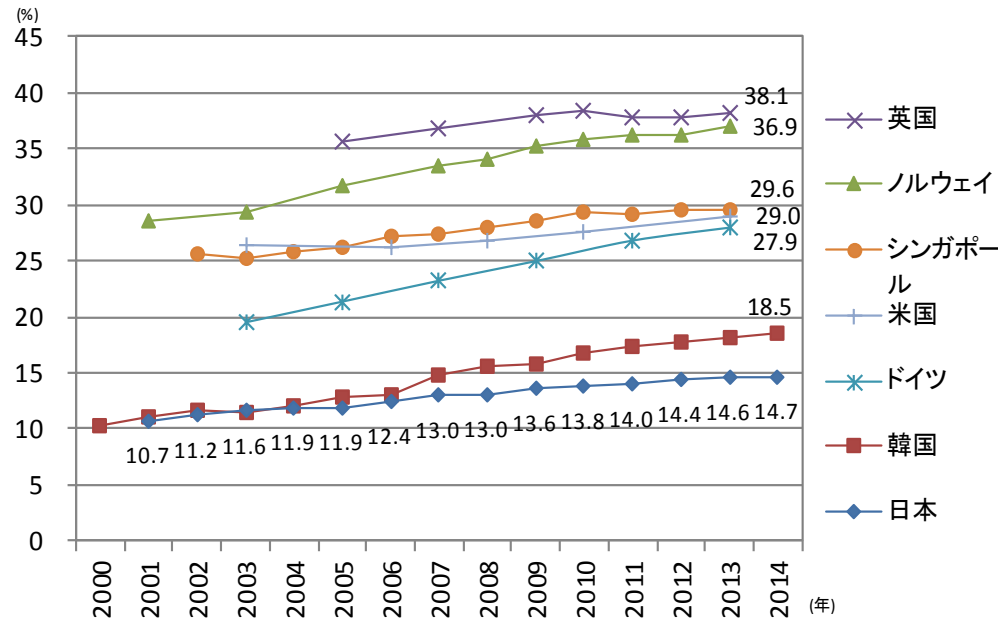
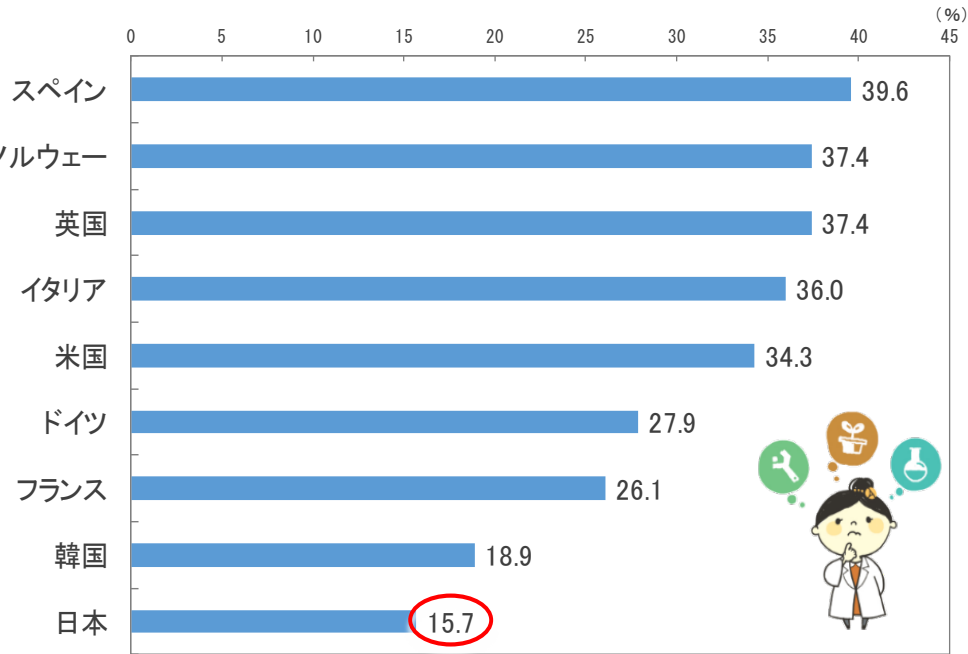
我が国の研究者に占める女性の割合、また、その増加率は他の先進諸国と比べて低い。

平成30年2月8日(木)
野田女性活躍担当大臣
資料

<諸外国の研究者に占める女性割合>

<調査対象国における女性研究者の割合>

(「理工系分野における女性活躍の推進を目的とした関係国の社会制度・人材育成等に関する比較・分析調査報告書」(内閣府男女共同参画局、2017年)より抜粋)



(備考)

- 総務省「科学技術研究調査」、OECD “Main Science and Technology Indicators”, 米国国立科学財団(National Science Foundation: NSF) “Science and Engineering Indicators 2016”より作成。
- 日本の数値は、2017(平成29)年の値。韓国は2015(平成27)年値、ドイツは2013(平成25)年値、その他の国は2014(平成26)年値。推定値及び暫定値を含む。
- 米国の数値は、雇用されている科学者(Scientists)における女性割合(人文科学の一部及び社会科学を含む)。技術者(Engineers)を含んだ場合、全体に占める女性科学者・技術者割合は29.0%。

注) 米国のデータは、科学・エンジニア職種(S&E Occupations)で、学士以上の学位取得者で、雇用されている者における女性の割合
出典) OECD, Main Science and Technology Indicatorsのデータ” Women researchers as a percentage of total researchers (headcount)” (米国以外)、National Science Foundation, SESTATデータベース (Scientists and Engineers Statistical Data System)のデータ (米国)に基づき作成。